

# 舟車輪

平成14年 8月 発行

(財)帆船海王丸記念財団  
TEL 0766-82-5181

FAX 0766-82-5197

## 第79号

### 7・8月の行事について

#### 1. 真夏の総帆展帆

7月から8月の総帆展帆は、強い日差しの中で行われました。その中で展帆作業に取り組むボランティアの姿を見ると、自分も負けていられないと思います。

8月4日の総帆展帆は横浜日本丸のボランティアが多数参加されました。ご協力に感謝します。ありがとうございました。

今年の総帆展帆も残り4回となりました。残りの総帆展帆も活気あるものにしていきましょう。

#### 展帆データ

7月 7日

天候：曇 晴 参加人数：66名 展帆状態：ポートタックスクエアヤーズ総帆

7月 20日

天候：晴 曇 参加人数：85名 展帆状態：ポートタックスクエアヤーズ、コース・ガフトプスルを除く総帆

8月 4日 (通算113回目)

天候：曇 晴 参加人数：81名 展帆状態：ポートタックシャープアップヤーズ

#### 2. 6月末横浜日本丸の総帆展帆に海王丸ボランティア参加

横浜の日本丸で、ワールドカップ決勝戦のイベントに合わせて6月29日～30日にかけて総帆展帆が行われました。このイベントに海王丸ボランティアが十数名が参加しました。天気は雨が降るなどして条件が悪く、総帆を広げることができなかったとのことです。しかし待機時間中はイベントに参加したり、横浜のボランティアとの交流が深まったとのことで参加者は大変満足していました。

#### 3. 第二回目登しょう礼実施

7月20日の総帆展帆前に「海の日」にちなんで登槽礼を行いました。2回目ですがヤード配置では初めての記念すべき登槽礼となりました。チアリーダーの水口勝務さんをはじめ49名がヤード配置につき「海の日、海王丸、おめでとう」を発声しました。前々からの訓練の成果もあって、素晴らしい登槽礼であ

ったと思います。今後の登槽礼に期待します。



第2回目登槽礼の様子

#### 4. 海王賞・紺青賞受賞

総帆展帆に百回参加された方に送られる「海王賞」、五十回参加された方に送られる「紺青賞」の授賞式が行われました。玉井文次さんが海王賞受賞者第1号でしたが、今年は6名が受賞、紺青賞は4名が受賞しました。受賞者は以下のとおりです。

(海王賞：6名)

荒木 孝文 さん	大川 雅永 さん
澤井 久義 さん	土居 正輝 さん
西部 銃郎 さん	高澤 昭二 さん

(紺青賞：4名)

新田 茂男 さん	近藤 健二 さん
池崎 勝巳 さん	今井 雄治 さん

10名の皆様おめでとうございます。

#### 5. 海王丸(2世)・大成丸が七尾に入港

7月下旬に航海訓練所の練習船 海王丸(2世)、大成丸が七尾港に入港しました。7月22日～26日まで大成丸が着岸、大成丸出港の後海王丸(2世)が入港し、30日まで着岸していました。大成丸には今年3月まで当財団の二等航海士として勤務していた持田氏、海王丸には同じく3月ま

で勤務していた富士川氏が乗船していました。両船のご安航を祈ります。

## 7. 中松さんの船模型展示

8月4日、海王丸ボランティアの中松さんが2つの大きな汽船の模型を持って来られました。1つは日本郵船の貨物船「河内丸」、もう1つはイタリアライン所有の客船ラファエロです。細部まで再現された模型ですが、材料のほとんどは家屋の廃材や家庭から出た廃棄物を利用しているとのこと。中松さんはこのような船の模型を10隻ほど作ったとのこと。

現在海王丸の士官サロン手前のショーケースの上に2つの模型が展示されています。家庭の廃棄物を中心に組まれた繊細な模型を是非一度見て下さい。

### SPLICING THE MAIN-BRACE

#### 帆船の操船法について

海王丸は平成2年からここ富山県新湊市に係留されて早や12年の月日が流れ、大海を航海することがなくなりましたが、現役時代の59年間には太平洋を中心とした世界各地に寄港したことは、読者の皆さんも良くご存じのことと思います。その航海は、平穏なものばかりではなく、時には行きたい方向から吹いてくる風と戦いながら、苦労して目的地を目指しました。

海王丸のような横帆船はヨットなどの縦帆船に比べ、風の方向に向かって走る「切り上がり性能」は良くありません。従って、目的地に向かって進むためには、時には行きたい方向から風が吹いてくる風に向かって、ジグザグに航海しなければならないことがあります。では、帆船の操船法、特に方向を変える方法にはどのようなものがあるかを今回は紹介することにしましょう。

#### 上手廻し(タッキング Tacking)

これは、風の方向(風上側)に船首を向けて、針路を変えていく方法です。ヨットなどの縦帆船では比較的容易なのですが、横帆船では時に、船を挙げての大仕事となります。

まずはある程度、風上に向かって切り上がっていくための速力があることが条件で、また、マスト間のステイスルは必要最小限を残し、ダウンします。船長の号令「下、舵を風上側に取り、船首を風上に回していきます。スパンカーはブームを中央にして、船尾に風を受け、船首が切り上がり易いようにします。この際、一番下のコースは抵抗になるため、「Raise tacks & sheets!」という号令が掛かり、クリュー(Clew)だけを引き上げておくこともあります。次に船首が風の方向に向かう直前に「Haul taut X'jack braces!」の号令でミズンマストの横帆を一気に反対舷まで開き、船首が廻りやすくします。

船首が風の方向を過ぎて反対側から風を受けるようになったら、フォア・メインの各ヤードを一気に反対舷一杯まで開きます。このころには、デッキ上は足の踏み場もないほどロープが入り乱れ、作業をする者もデッキ上を右や左に走り回ります。

また、操舵員は風上一杯まで取った舵を今度は風下一杯まで一気に回していきます。

そして、各マストのヤードを反対舷一杯まで開いて、一杯開き(Sharp up yards)の状態とし、最後にトリムして再び風に向かって走り始めます。

ところで海王丸のクロジャッキ・セイル(ミズンマストのコース)はフォースルやメンスルと異なり、何故、三角形の形をしているかご存じでしょうか。これは帆船が全盛時代の名残りで、ホーン岬(南アメリカ大陸の最南端)を東から西へ抜ける際、常に大時化でどの船も大変難儀してここを航海してました。その際、タッキングやあとに述べますウェアリングを繰り返して、風の方向に向かって進んで行きましたがその際、クロジャッキが扱いやすく、また操船者が前方への見晴らしが良いように中央にシートを配してあのような三角形のセイルになっています。そこからこのセイルは、別名「ケープホーンスル」とも呼ばれています。

#### 図1. 上手廻し(タッキング)

#### 下手廻し(ウェアリング Wearing)

これはタッキングと反対に風下に向かって船首を廻し、方向を変える方法です。タッキングに比べると少人数でも行うことが可能な方法ですが、向きを変えるまでに風下側に広い水域を必要とします。そのため風下側に陸岸や障害物があると乗り上げてしまう危険もあります。

この方法では、風下側に向かって舵を取り、フォアヤードから順次反対舷まで開いて行きます。方向が変わったあとは、タッ

キングと同様，一杯開きで風に向かって再び走って行きます。

今回は，帆船の操船方法について，簡単に説明しましたが，カッターなどの帆走でも基本的には同じです。今後，皆さんもカッターでの帆走を経験される機会があるかと思います。その際には，タッキングやウエアリングを行い，より風を肌身で感じ，帆船の操船の基本を体験してみてください。（く）

## 9・10・11月の行事予定

### 1. 9・10・11月総帆展帆について

日 付  
7回目：9月 8日（日）  
8回目：10月 6日（日）  
9回目：10月 20日（日）  
10回目：11月 3日（日） 通算 117回目

時 間： 09:00 受付開始  
10:00 打合わせ

場 所：  
・受 付：日本海交流センター事務所前  
・更 衣：各研修室（海王丸居室）  
・打合せ：海王丸第一教室

その他：  
・返信葉書に出欠記入をお願いします。  
・天候により総帆展帆の是非が分からない場合，当日朝8時以降に当財団に連絡を下さい。

注 意：  
・10月20日は海鮮祭りで混雑が予想されます。（自家用車の場合，ダッシュボードに以前配布した海王丸駐車証を置いて下さい。）  
・11月3日はネプチュニアード（海王丸運動会）を行ないません。（昼休み時間）

### 2. アンベンディングセイル

今年の総帆展帆が全て終了した後，セイルの取り外し作業・・・アンベンディングセイルを行います。作業日は平日ですが，できるだけ多くの方の協力をお願いします。セイルとロープの関係が分かったりセイルの収納作業を体験することができます。詳細は以下のとおりです。

日 付：平成14年 11月 5日（火）  
11月 6日（水）

時 間：両日とも  
受 付： 8時  
打合わせ： 8時30分  
作業開始： 9時

集合場所：海王丸第一教室

注 意：天候等により，作業日を変更することがあります。この場合，出席で希望されている方には電話で連絡いたします。

### 図2. 下手廻し（ウエアリング）

上手小廻し（ボックスホーリング Box hauling）

これは，風上に陸岸が迫っていたり，前方の障害物を回避するときに取られる操船方法でタッキングとウエアリングを合わせた様な航跡をたどります。但し，第1の目的は如何に前方向への進出距離を少なくして向きを変えられることが出来るかにあります。下の図は「新海王丸」でボックスホーリングを実施したときの航跡です。一時的ですが，大きく後進しているのが分かります。

### 図3. ボックス・ホーリング

皆様の参加をお待ちしています。

### 3. 12月「ボランティアの集い」について

今年12月7日(土)「海王丸ボランティアの集い」を行います。

詳細の内容は次回号に記載します。

日時：平成14年12月7日(土)  
18:30~20:30 (受付18:00から)

場所：とやま自遊館

注意：出欠は次回の返信葉書に記載をお願いします。

### 情報・書籍・その他

#### 1. H15配布用Tシャツデザイン大募集

平成15年に配布予定のTシャツのデザインを募集します。今までは、主に財団職員が中心にデザインなど行ってきましたが、次回配布分は、皆様からの公募から、皆さまから選ばれたデザインをプリントしたいと思っています。募集は10月31日まで、11月3日最後の総帆展帆日の反省会で集計を行いたいと思います。詳しくは9月8日総帆展帆反省会で連絡します。

#### 2. ビルディング・ザ・カティースーク (書籍)

中松さんの模型の紹介を記載していたら、ふとある書籍があったことを思い出したので紹介します。ご存知の方も多いと思いますが、週間で模型のパーツを組み立て模型を楽しみながら世界の帆船を知ることができる風変わりな書籍「ビルディング・ザ・カティースーク」があります。

書籍に付属しているパーツを組み立てていくと全長約9.4cmの本格的な帆船カティースークの模型が完成します。1冊のパーツが少ないので、手軽に順序を追ってこつこつと作製することができます。また説明書の他に、諸外国の帆船の紹介や船の歴史が紹介されています。本格的な帆船模型を家に置きたい方には朗報です。

発行(株)デル・ブラド・ジャパン、発売(株)扶桑社で1部1,000円で販売しています。希望の方はお近くの本屋さんで探してみてください。

#### 3. お詫び(前回号の訂正及びお詫び)

前回号で、「今年の海王賞・紺青賞等受賞者」のコーナーで、訂正があります。小職のチェック不足によるものでした。誠に申し訳ありませんでした。お詫び申し上げます。

「海王賞」 - もう一息の方  
大川 雅永 さん 99回 (欠落)  
(7月20日海王賞を受賞されました。)

「紺青賞」 - 受賞者決定  
新田 邦男 さん 新田 茂男 さん  
(氏名間違い)  
池崎 勝巳 さん 50回 (欠落)  
(7月20日紺青賞を受賞されました。)

### 終わりに

8月が終わろうとしています。6月~8月は時間の流れが早かったように思います。総帆展帆をはじめ、夏休みに集中する海洋教室などで、「暑い富山」でしかこの時期の思い出は残っていません。しかし盆が過ぎてから急に9月中旬~下旬の気温になりました。体がその気温に慣れず体調不良が続く日もありました。苦しい夏というイメージの8月でした。皆様もお身体には、十分気をつけて日々お過ごし下さい。

本紙で紹介したの中松さんの船の大型模型を見たとき「すごい物を作られているのだなあ」と驚きました。図面を作り、使える廃品の物品を寄せ集め寸法を調整して船舶模型を作るのです。相当の根気と集中力が必要です。私の知っている方で、やはり図面から寸法を計り、紙を材料にして、鉄道模型を作っています。両氏とも「物作りの面白さ」を知ってられるからこそ、そこまで作られると思います。

「物作りの面白さ」とは何でしょう。先日小職は、妻からピースアクセサリーの作製の依頼を受けました。初めてのピースなので、苦戦しましたが、配色・糸の通し方・ピースのまとめ方など、ピースの「面白さ」を知ることが出来ました。

1時間ほどで仕上がりましたが、自分が手がけたものが出来たときの感動はこの上もないものがあります。自分で手がけた「もの」はたとえ他人から見て出来が悪くても、親しみを感じるものです。不格好なピースのアクセサリーでしたが、それは「物作りの面白さ」を教えてくださいました。

失敗した場合、物は失敗でなくなることはありませんが、自分は何が不足していたか、失敗の原因は何かと考えさせられることがあります。その原因を究明し、次のステップを踏んでいけるのです。

「物作り」は「もの」を作る・完成させる楽しみを知りつつ、自分の成長も知ることができます。今年の秋は「物作りの秋」でチャレンジしてはいかがでしょうか。